

## 小型軽量でも大型機並みの実力を持つ CDトランスポーター

# AB PD505T Special

ノーマルモデル

メーカー希望小売価格 ¥185,000 (税別)

コンプリートパッケージ 1

メーカー希望小売価格 ¥189,000 (税別)

コンプリートパッケージ 2

メーカー希望小売価格 ¥209,000 (税別)

ノーマルモデルからのバージョンアップ代金

¥70,000 (税別)

※ノーマルモデルの購入/逸品館、他店共通

コンプリートパッケージ 1 は、AIRBOW KDK-OFC/2.0m/高音質電源ケーブル、

コンプリートパッケージ 2 は、AIRBOW KDK-OFC/2.0m/高音質電源ケーブルと

AIRBOW MSD-090-EVO Ver.2/0.9m/同軸デジタルケーブルがセットになったお買い得パッケージです。



### AIRBOW PD505T Specialの開発目標

AIRBOW PD505T Special のとりあえずの開発目標は「オリジナルの VRDS-701T を超えること」です。回路がかなりシンプルなベースモデル TEAC PD-505T は、交換可能な部品点数が少なく「すべてのパーツを考え得る限りの組み合わせで聞き比べる」ことができました。パーツ点数が少ないときの改造ポイントは「可能な限り高性能品を使う」という所です。

すでに生産が完了している「ブラックゲート(無極性 NX)」や「初代 OS コン(無酸素銅リード線付き)」などを惜しみなく使い開発を進めると、すぐにオリジナルの VRDS-701T を超える「解像度感」と「S/N 感」が実現しました。この時点での「解像度」は、SACD に匹敵するほどのレベルに達しました。

しかし、VRDS-701T と比べると非VRDSメカのためか「音の厚み」が薄く感じられます。一般的な尺度ならこの音でも高い評価を得られるでしょうけれど「魂が抜けたような高音質」では、AIRBOW の名前を冠するわけにいきません。交換可能なパーツを探りながら、さらに補助的なパーツの追加も試みました。1箇所ずつ「厚み」を積み上げながら問題点を解決し、最終的な音が決まりました。

### AIRBOW PD505T Specialの魅力

ベースモデルの TEAC PD-505T には、非VRDSメカらしい「開放的な音の広がり」と「シャープな定位」という武器があります。そこに CD の再生でも SACD に匹敵するほどの「きめ細やかさ・解像度感」を付け加えることに成功しました。

ネットワークの再生や今までのCDでは、聞き取れなかった「細かな音」を聞かせる「微小信号再現性の高さ・S/Nの良さ」はこの価格帯のCDトランスポーターを大きく上回ります。VRDS-701Tオリジナルの持つ「中低域の厚み」までは再現することは出来なかったのですが、オリジナルのPD-505Tとは比較にならない「分厚い音」を聞かせてくれます。開発目標であった「オリジナルVRDS-701Tを上回る高音質をより安く、より小さい筐体で実現する」ことに成功したAIRBOW PD505T Specialは、CDに刻まれたデータのすべてを引き出すかのような「高解像度」と、一般的なCDトランスポーターでは実現しない「高域の伸びやかさ(圧倒的な透明感を実現)」が最大の魅力です。比較的手の届きやすい価格。設置が容易な小型CDトランスポーターとしてお求めいただくなら、そのご期待には十分以上お応えできると思います。

### 音質評価

・せせらぎ

音が出た瞬間に「音が大きく広がる」ことに驚かされます。

高域の抜けとピント感に優れ、鳥の声や川の流れる音が高精細に再現されます。デジタルとは思えないほど高域の S/N が良く、今までのトランスポーターでは聞き取れなかった細やかな音まではっきりと聞こえます。

滑らかで透明度の高い、澄み切った音でせせらぎが鳴りました。

・バッハ・バイオリンソナタ(リザ・フェルシュトマン)

バイオリンの高域の伸びやかさと抜けの良さは、CDとは思えないほどの高いレベルにあります。

高価なアナログを思わせる滑らかさと、きめの細やかさを感じさせながら、スッキリと透明感の高い「凜とした音」でバイオリンが鳴りました。

・モナリザ(グレース・マーヤ)

ギターのリズムがふくよかで余韻も長く響きます。

ボーカルはリップノイズがはっきりと聞こえ、高域の明瞭度と解像度は SACD に近く感じます。

とてもみずみずしい音で「これぞ Hi-Fi!という心地よさ」でモナリザを鳴らします。

## 音質評価総評

CD ならではの「滑らかさ」を湧出する AIRBOW PD505T Special の持ち味は、「きめ細やかさ」と「透明感」そして「自然な立体感」にあります。初期のデジタルや低価格のネットワークオーディオにありがちな、いわゆる「デジタル臭さ」とは対極にある「アナログ的な滑らかさ」を持ちます。高域の見通しの良さ、解像度、音の広がりや定位感に優れ、澄み切った空気感の再現などは、デジタルとは思えない素晴らしさです。それは、例えるならば「良く出来たブックシェルフ型スピーカー」のようです。迫力やパワー感はそれほど大きくありませんが、穏やかな曲調の交響曲(例えば第3楽章)やバラード系の女性ボーカルは最高の「雰囲気」で鳴らします。

## 主な仕様

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 再生可能ディスク: オーディオ CD (CD-R/CD-RW 対応)</li><li>● デジタル出力端子: 同軸デジタル・光デジタル (TOS)</li><li>● クロックシンク入力: 10MHz (BNC 端子・50Ω)</li><li>● 電源: AC100V、50/60Hz</li><li>● 消費電力: 4W</li><li>● 待機時消費電力: 0.3W</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 寸法/重量: 290 (W) × 84.5 (H) × 248.8 (D) mm/4kg<br/>※突起部含む</li><li>● 付属品: 電源コード・リモコン (RC-1338)・フット用クッション*3・取扱説明書</li></ul> |
|---|---|